

設定ソフト取扱説明書

2005 年 6 月 20 日 初版発行

目 次

1. 概要	1
2. 操作説明	1
2.1. 基本操作	1
2.1.1 データの編集	1
2.1.2 データの追加・削除	2
2.2. 各画面の操作	4
2.2.1 メニュー	4
2.2.2 局情報の設定	5
2.2.3 監視項目の設定	9
2.2.4 制御項目の設定	10
2.2.5 アナログ項目の設定	11
2.2.6 定時監視時間の設定	12
2.2.7 局別定時監視実行の設定	13
2.2.8 定時通報の設定	14
2.2.9 データ自動削除時間の設定	15
2.2.10 アラーム名称の設定	16
2.2.11 アラームビットの設定	17
2.2.12 メールグループの設定	19
2.2.13 メール送信先の設定	20
2.2.14 メール送信元の設定	21
2.2.15 メール送信条件の設定	22
2.2.16 アラームスケジュールの設定	24
2.2.17 メールスケジュールの設定	27
2.2.18 擬似項目状態変化スケジュールの設定	28
2.2.19 局別アラーム出力の設定	30
2.2.20 合成項目の設定	31
2.2.21 Web 画面表示メッセージの設定	32
2.2.22 ユーザーパスワードの設定	33

1. 概要

本ソフトウェアはMicrosoft社製オペレーションシステムソフト（Windows 2000, Windows XP等）、解像度 XGA(1024×768)以上の環境にて、WEB 監視制御装置（以下、センター装置）の運用に関わる設定(局情報・接点情報の設定、アラームに関する設定等)を行うソフトです。

2. 操作説明

2.1. 基本操作

2.1.1 データの編集

データの編集を行う種類として以下の2パターンがあります。

- ①項目欄より変更を行う
- ②データ一覧表から直接データの変更を行う

「メールの送信元の設定」や「メール送信条件の設定」といったデータが1件しかない場合は①のみの設定方法、「局情報の設定」「監視項目の設定」といったデータが複数件ある場合は①と②の設定方法を行う事が出来ます。

ただし②の方法でも一部①でしか設定出来ない項目もありますので、その場合は①の方法にて設定を行ってください。

①項目欄より変更を行う

局名称: 共通

←白色の部分を変更する事が出来ます。
(灰色になっている場合は編集できません)

②データ一覧表から直接データの変更を行う

No	設置場所	ID番号	局種別	フォーマット番号	キーワード	音声ファイル名称	状態確認ビット	主回線種別	主回線番号
0	共通		0				00000000000000000000	0	0
1	監視	001	1	4	0010		1F8018060000000000000000	14	192
2	ログ	002	1	4	0011		038324000000000000000000	14	192
3	ユーザ	003	1	4	0012		102494000010000000000000	14	192
4	テレメータ	004	1	4	0013		1F8030000000000000000000	14	192
5	予備	005	1	4	0014		198000000000000000000000	14	192
6	変調パラメータ	006	1	4	0100		180000000000000000000000	14	192
7	Tx詳細	007	1	4	0101		1E0000000000000000000000	14	192
8	本社監視	008	1	4	1000		1EF000000000000000000000	14	192

①同様、白色の部分を変更する事が出来ます。

上記以外にも色々な編集方法がありますので「主に使用するコントロール」を参照願います。

編集が完了した場合、必ず「更新」ボタンを押してデータを保存する事を忘れないでください。

2.1.2 データの追加・削除

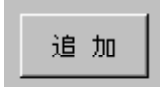
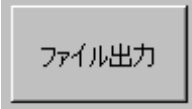
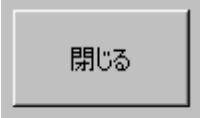
一部のデータについてはユーザー様の任意でデータを追加・削除をする事が出来ます。

データを追加する場合は「追加」ボタンを押してデータの追加を行い、「更新」ボタンを押してデータを保存してください。「追加」ボタンを押してデータの追加を行っただけではそのレコードを編集する事は出来ません。

データを削除する場合は、削除するレコードを選択した後「削除」ボタンをして「更新」ボタンを押してください。「削除」ボタンを押したのみではデータの削除を行う事は出来ません。

「更新」ボタンを押すと削除を行ったデータを元に戻す事が出来なくなりますので、十分吟味をした上で削除を行ってください。

2.1.3 主に使用するコントロール

	値の変更（追加・削除も含む）を保存する場合に使用します。 （「更新反映」と書かれたボタンもあります）
	値の変更（追加・削除も含む）をキャンセルする場合に使用します。 （「更新」ボタンが無い画面では画面を閉じます）
	データを追加する時に使用します。 追加を反映させるには「更新」ボタン、キャンセルするには「キャンセル」ボタンをクリックします。
	データを削除する時に使用します。 削除を反映させるには「更新」ボタン、キャンセルするには「キャンセル」ボタンをクリックします。
	保存されているデータを CSV ファイルに出力する時に使用します。
	変更した値を保存して画面を閉じる場合に使用します。 値を保存せずに画面を閉じる場合は画面右上の「×」ボタンを使用してください （「OK」ボタンと書かれたボタンもあります）
	データの移動時に使用します。 ボタンの中央には「現在の行／データ数」が表示されます。 「<<」：先頭のデータに移動します。 「<」：1つ前のデータに移動します。 「>」：1つ先のデータに移動します。 「>>」：再度のデータに移動します。 （データが複数件ある場合のみ）
	ファイルの選択、項目番号の選択、ビットマスクの作成等、他の画面からデータを参照する場合にボタンをクリックします。

	▼ボタンをクリックして一覧からデータを設定します。
	値をクリックしてパレット画面を表示して色の選択を行います。 (色の値を設定する場合のみ)
	表示されている一覧からデータを選択を行い、その項目に属するデータを表示します。

2.2. 各画面の操作

2.2.1 メニュー

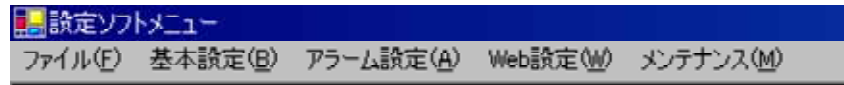


図 1 メニュー（一部）

本ソフトウェアを起動すると、メニュー画面を表示します。

メニューは機能によってメニューが分けられています。

- ◎ファイル

本ソフトウェアを終了します。

- ◎基本設定

局情報、接点情報、定時監視等の基本設定を行います。

- ◎アラーム設定

アラームレベル、メール送信等異常発生時に行う動作に関する設定を行います。

- ◎ Web 設定

合成項目、メッセージ等 Web 画面の表示に関する設定を行います。

- ◎メンテナンス

設定ソフトに関するメンテナンスを行います。

2.2.2 局情報の設定

図2 局情報の設定

図2にて各局の名称、通信種別、項目数等、監視制御装置の基本となる項目の設定を行います。

○編集内容

- No : 局のシリアル番号です。(設定を行う事は出来ません)
- 局名称 : 局の名称です。
- 局種別 : 局の種別です。
「未使用」「テレビ局」「ラジオ局」の中から選択します。
- フォーマット番号 : 局の通信フォーマット番号を設定します。
- キー文字列 : キーとなる文字列を設定します。
- 音声ファイル : 異常通報を行う際の音声ファイルを設定します。
- 状態確認ビット : 「定時監視」「定時通報」時に局が正常に動作しているかを確認するビットです。局の状態が設定ビット以外の場合は局が異常とみなし、異常通報します。
- 主回線種別 : 主回線の回線種別を設定します。
「直接専用線 NEC 仕様」を選択してください。
- 主回線 IP アドレス : 主回線の IP アドレスです。
(回線種別にて「DoPa 回線」を使用した場合のみ設定します)
- 主回線電話番号 : 主回線の電話番号を設定します。
(回線種別にて「一般加入回線」を使用した場合のみ設定します)
- 副回線種別 : 副回線の回線種別を設定します。
「直接専用線 NEC 仕様」を選択してください。

副回線 IP アドレス : 副回線の IP アドレスです。
 (回線種別にて「DoPa 回線」を使用した場合のみ設定します)

副回線電話番号 : 副回線の電話番号を設定します。
 (回線種別にて「一般加入回線」を使用した場合のみ設定します)

監視項目数 : 監視項目数を設定します。

制御項目数 : 制御項目数を設定します。

アナログ項目数 : アナログ項目数を設定します。

擬似項目数 : 擬似項目数を設定します。(※)

合成項目数 : 合成項目数を設定します。

パラメータ項目数 : パラメータ項目数を設定します。

局 0 番は運用管理用局なので、ユーザー様は 1 番から設定を行ってください。

また、他のデータに影響を及ぼす項目が一部あります。その項目を編集する場合は十分吟味をした上で設定変更を行ってください。

○他のデータに影響を及ぼす項目

変更を行う項目	影響するデータ
監視項目数	監視項目のデータ件数
制御項目数	制御項目のデータ件数
アナログ項目数	アナログ項目のデータ件数
擬似項目数 (※)	監視項目のデータ件数
合成項目数	合成項目のデータ件数
パラメータ項目数	パラメータ項目のデータ件数

※ 擬似項目

端末装置上監視項目としては存在しないが運用上必要な項目。監視項目の設定画面(2.2.3 項)にて設定します。

○ビットマスクの設定

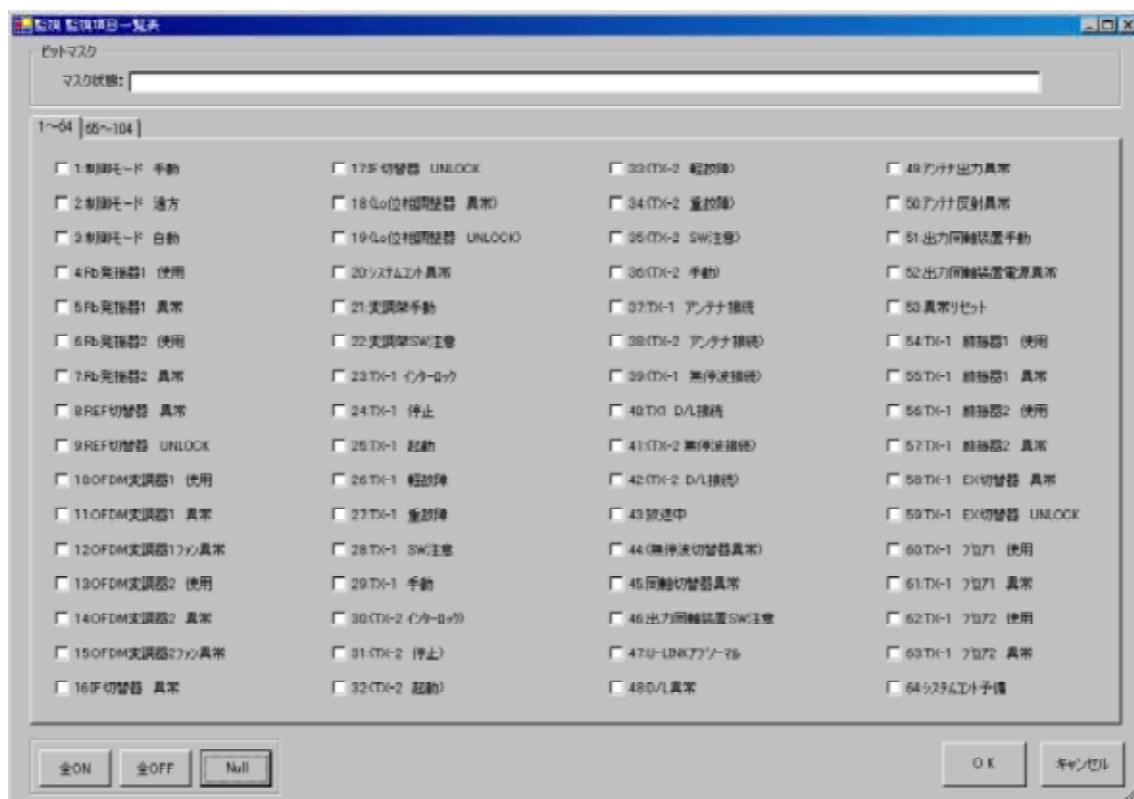


図3 ビットマスクの設定

ビットマスクを設定する欄の右側にある「参照」ボタンをクリックすると、図3の画面を表示します。

図3では設定する局の擬似項目を含む監視項目データの表示を行い、各項目にチェックをいれることでビットマスクの設定を行います。

- マスク状態 : 現在のマスクビットの状態を表示します。
- 全 ON : 全ての項目にチェックを入れます。
- 全 OFF : 全ての項目のチェックを外します。
- Null : ビットマスクを空欄にします。

局のデータ種別が「直接専用線 NEC 専用」の場合、図3で設定したマスク状態と実際に保存するビットマスクが異なりますが、運用上は問題ありません。

マスクの設定を行わない場合は、「Null」ボタンをクリックしてビットマスクを空欄にしてください。

○音声ファイルの設定

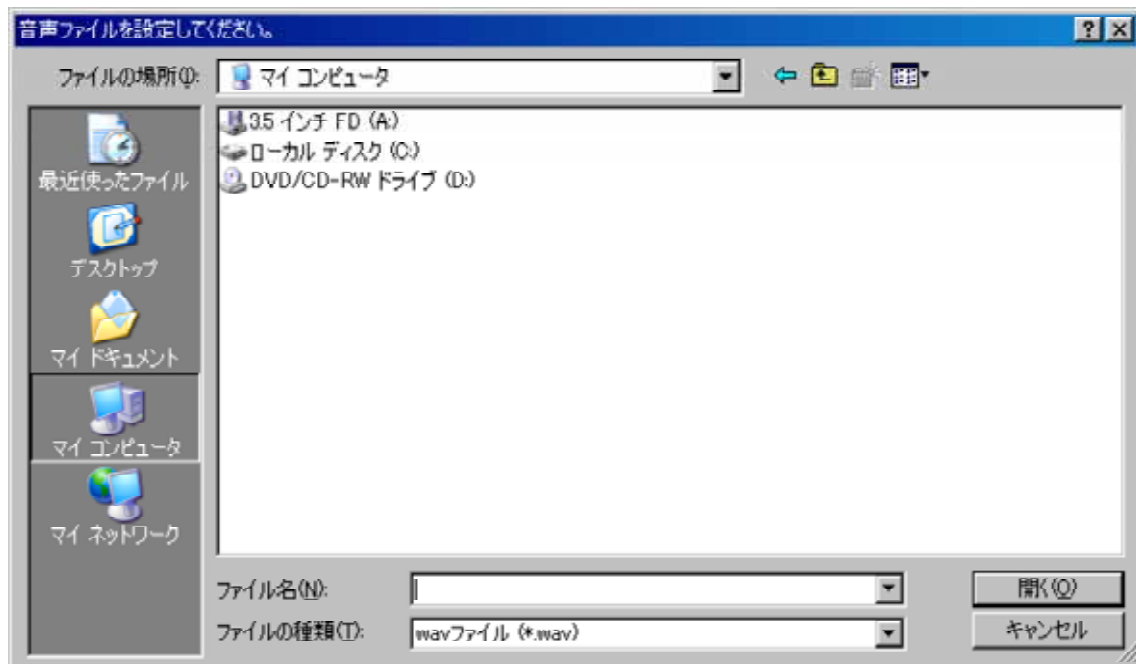


図 4 音声ファイルの設定

音声ファイルを設定する欄の右側にある「参照」ボタンをクリックすると、図 4 の画面を表示します。

音声ファイル（wav ファイル）を任意の場所から選択を行い、「開く」ボタンをクリックしてください。

2.2.3 監視項目の設定

図 5 監視項目の設定

図 5 にて監視項目に関する設定を行います。監視項目の設定は各局別になっており、局選択は図 5 左部の局一覧から行います。「局情報の設定」(2.2.2 項)にて設定した監視項目数に疑似項目数を足した項目数分の設定を行います。

◎編集内容

- 監視項目番号 : 監視項目番号です。(設定を行う事は出来ません)
- 項目名称 (接点 ON) : 接点 ON 時の監視項目名称です。
ログの名称として使用します。
- アラームレベル (接点 ON) : 接点 ON 時のアラームレベルです。
接点 ON 時の動作を設定します。
- 項目名称 (接点 OFF) : 接点 OFF 時の監視項目名称です。
ログの名称として使用します。
- アラームレベル (接点 OFF) : 接点 OFF 時のアラームレベルです。
接点 OFF 時の動作を設定します。
- 表示メッセージ : 接点の状態変化が起きた時に表示するメッセージ番号です。
表示メッセージの設定については 2.2.11 項を参照願います。

「更新反映」ボタンまたは「閉じる」ボタンをクリックした時に、「アラームビット」の作成 (2.2.11 項参照) を行うため、しばらく時間がかかる場合があります。

2.2.4 制御項目の設定

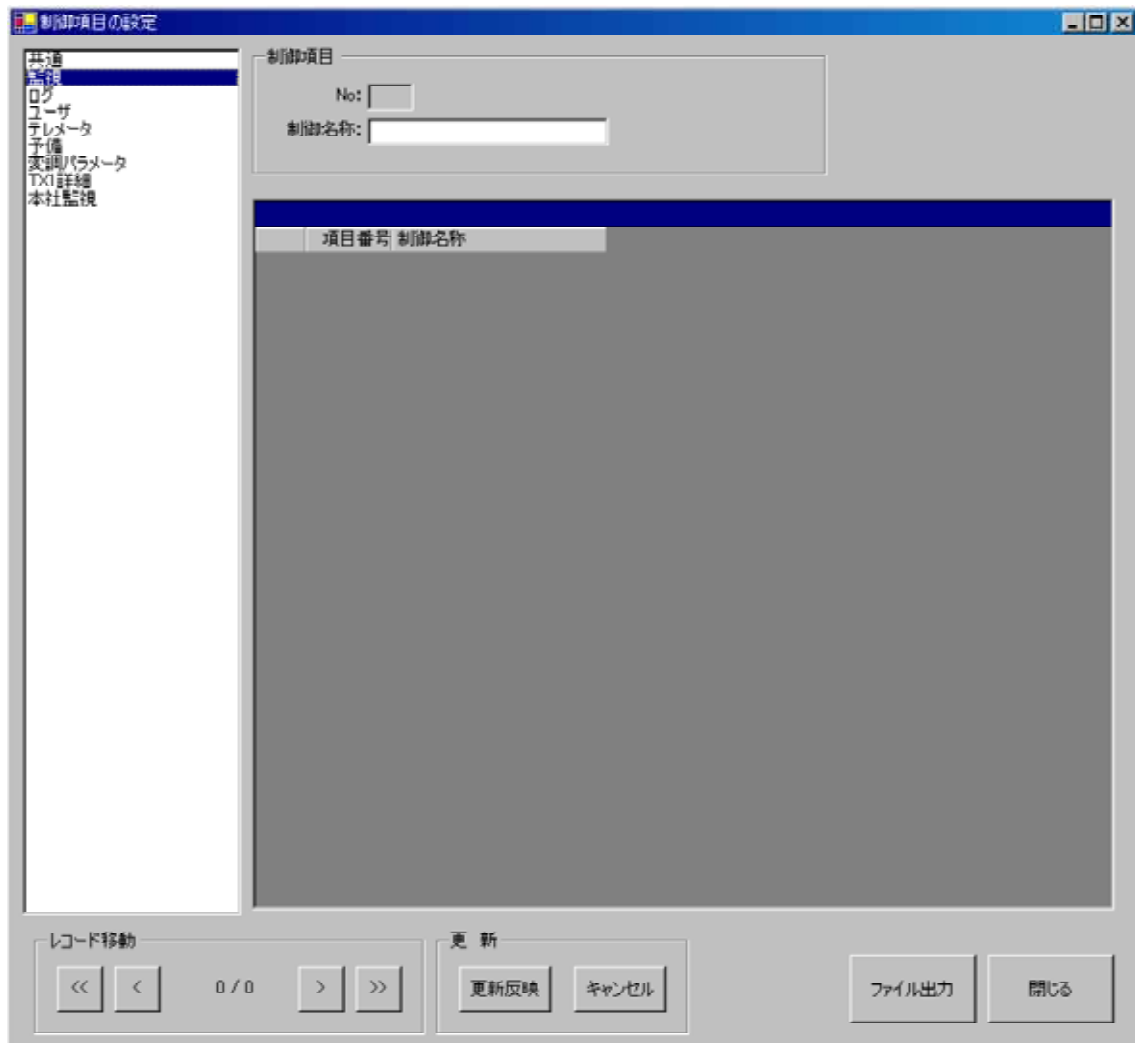


図 6 制御項目の設定

図 6 にて制御項目に関する設定を行います。制御項目の設定は各局別になっており、局選択は図 6 左部の局一覧から行います。項目数は「局情報の設定」(2.2.2 項)にて設定した制御項目数分の設定を行います。

○編集内容

No	: 制御項目番号です。
制御名称	: 制御項目名称です。 ログの表示に使用します。

2.2.5 アナログ項目の設定

図 7 アナログ項目の設定

図 7 にてアナログ項目の設定を行います。アナログ項目の設定は各局別になっており、局選択は図 7 左部の局一覧から行います。項目数は「局情報の設定」（2.2.2 項）にて設定したアナログ項目分を設定します。

○編集内容

- No : アナログ項目番号です。（設定を行う事は出来ません）
- アナログ名称 : アナログ項目名称です。
- 表示単位 : アナログ値の単位です。
- 小数点以下桁数 : アナログ値を表示する際の小数点以下の桁数です。
- 上限レベル : アナログ値の正常範囲の上限値です。
この値を上回るデータの場合、「上限アラームレベル」に基づいて動作します。
- 下限レベル : アナログ値の正常範囲の下限値です。
この値を下回るデータの場合、「下限アラームレベル」に基づいて動作します。
- 上限アラームレベル : 「上限レベル」を上回った時のアラームレベルです。
- 下限アラームレベル : 「下限レベル」を下回った時のアラームレベルです。
- スケール値 : WEB 画面のアナログ値のグラフを表示をする際のスケール値です。
- 係数 A : アナログ値を算出する計算式「 $f_x = Ax^2 + Bx + C$ 」（ x は端末装置の入力電圧）の係数 A 値です。
- 係数 B : アナログ値を算出する計算式「 $f_x = Ax^2 + Bx + C$ 」（ x は端末装置の入力電圧）の係数 B 値です。
- 係数 C : アナログ値を算出する計算式「 $f_x = Ax^2 + Bx + C$ 」（ x は端末装置の入力電圧）の係数 C 値です。

2.2.6 定時監視時間の設定

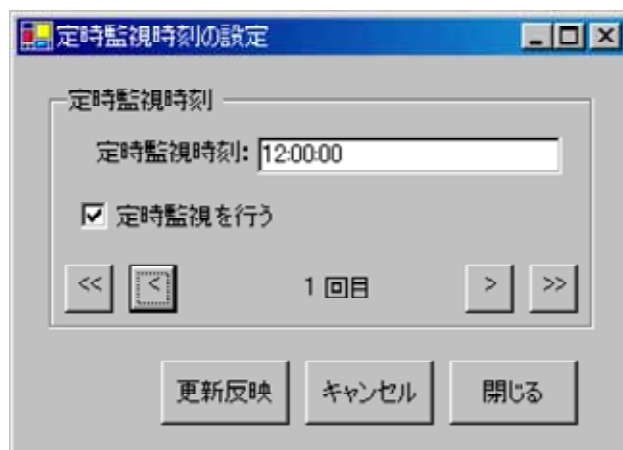


図 8 定時監視時刻の設定

図 8 にて定時監視の設定を行います。定時監視は1日に最大5回設定を行う事が出来ます。「定時監視時刻」は定時監視を行う時刻を設定します。「定時監視を行う」にチェックに入れる事によって定時監視時刻を有効にする事が出来ます。

(定時監視時刻にチェックをいれた状態であっても定時監視時刻が未記入の場合は定時監視を行いません)

2.2.7 局別定時監視実行の設定



図 9 局別定時監視実行の設定

図 9 にて局別に定時監視時刻に定時監視を行うかの設定を行います。

○編集内容

- 定時監視番号 : 定時監視の番号です。(設定を行う事は出来ません)
- 定時監視時刻 : 定時監視時刻です。(設定を行う事は出来ません)
- 局番号 : 局番号です。(設定を行う事は出来ません)
- 局名称 : 局名称です。(設定を行う事は出来ません)
- 定時監視の実行 : 定時監視を行う場合はチェックを入れます。

「定時監視時刻の設定」(2.2.6 項)にて定時監視を行わない設定になっている場合は、「定時監視の実行」にチェックをいれても定時監視を行いません。

※定時監視時刻の設定は「定時監視時刻の設定」にて設定を行ってください。

2.2.8 定時通報の設定

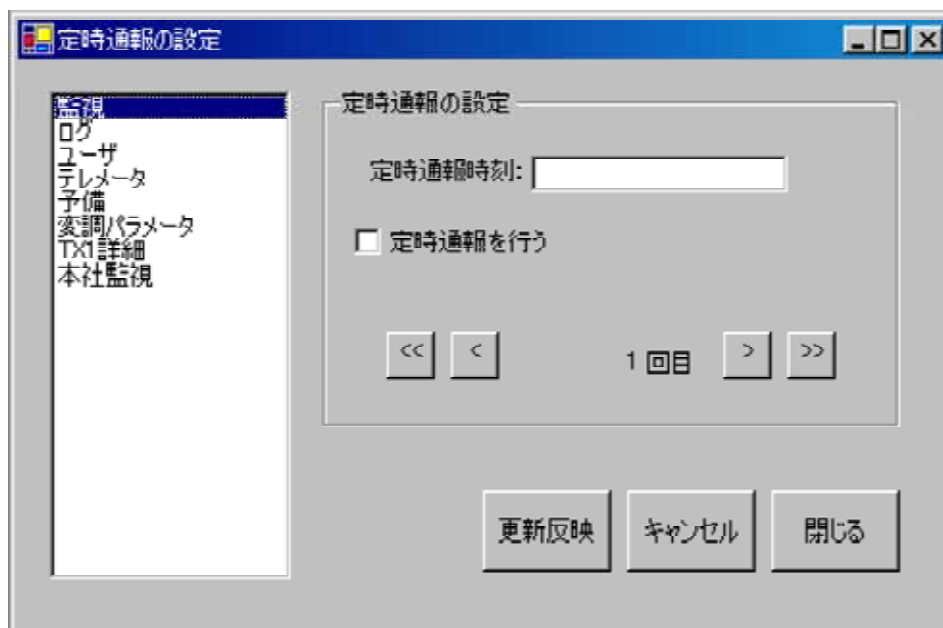


図 10 定時通報の設定

図 10 にて定時通報の設定を行います。定時通報の設定は各局別になっており、局選択は図 10 左部の局一覧から行います。各局別に定時通報を行う時刻を最大2回設定できます。

「定時通報を行う」にチェックに入れた場合のみ定時通報を行いますので、定時通報を行う場合は、「定時通報を行う」にチェックを入れてください。

2.2.9 データ自動削除時間の設定

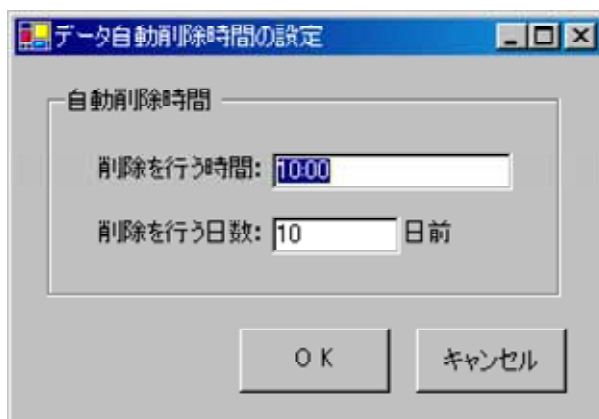


図 11 データ自動作事時間の設定

図 11 にて過去のログデータを自動削除する時間と期間を設定します。

○編集内容

- 削除を行う時間 : データの削除を行う時間を設定します。
- 削除を行う日数 : データの削除を行う期間を設定します。

PC 時刻が削除を行う時間を経過した場合、「削除を行う日付」前分のデータを削除します。図 11 の設定の場合、午前 10 時に 10 日前までのデータを削除します。

2.2.10 アラーム名称の設定

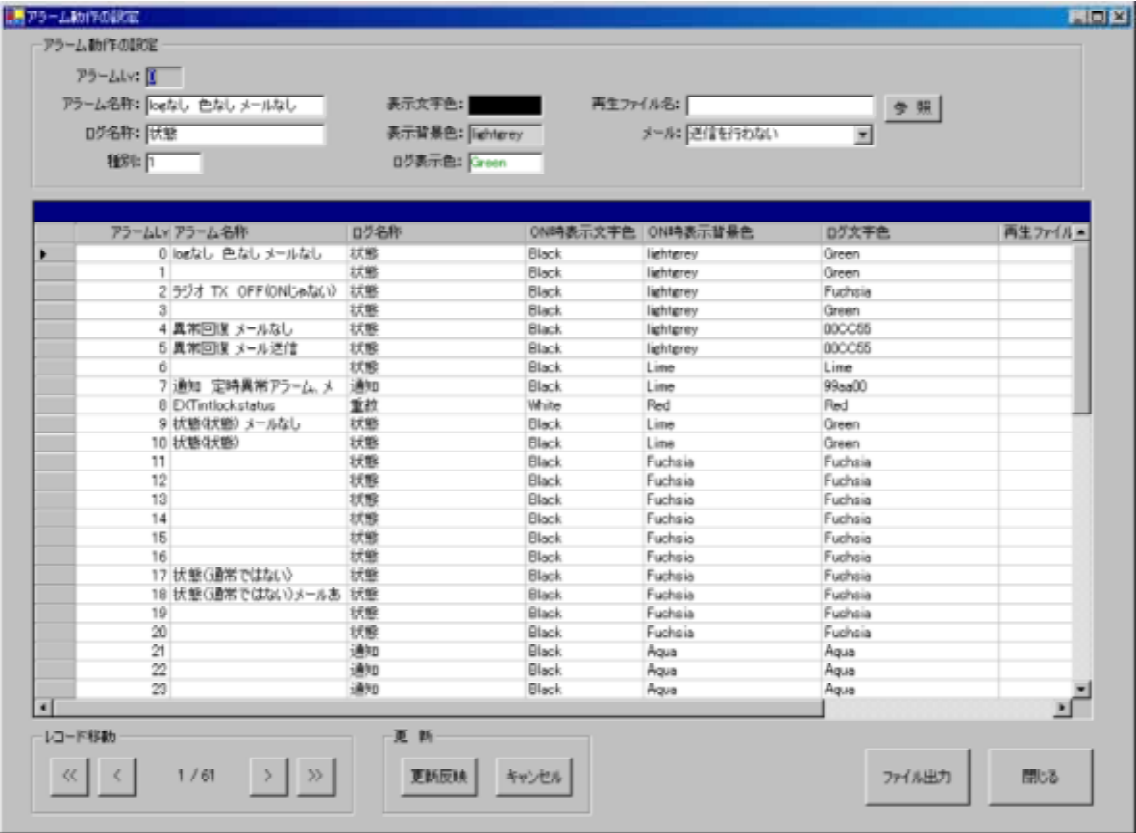


図 12 アラーム動作の設定

図 12 にてアラームの名称及びアラーム事象に関する設定を行います。
「監視項目の設定」(2.2.3 項)の「ONアラームレベル」「OFFアラームレベル」、「アナログ項目の設定」(2.2.5 項)の「上限アラームレベル」「下限アラームレベル」の事象を設定します。各「アラームレベル」は「アラームLv」を設定します。Lv0が一番低く、Lv60まで設定できます。

○編集内容

- アラーム Lv : アラーム Lv 番号です。(設定を行う事は出来ません)
- アラーム名称 : アラーム名称です。
- ログ名称 : ログに表示するアラーム名称です。
- 種別 : データの種別です。
「正常」の場合は「1」、「異常」の場合は「4」を設定します。
- 表示文字色 : WEB 画面のコントロールに表示する文字色です。
- 表示背景色 : WEB 画面のコントロールに表示する背景色です。
- ログ背景色 : ログの文字色です。
- 音声ファイル名 : アラームレベルに該当する項目の事象が発生した場合に出力する音声ファイルです。
- メール : アラームレベルに該当する項目の事象が発生した場合にメール送信を行うかどうかの設定です。

アラームビットの設定

レベル
Lv1 0

ON時項目

アラーム発生ビットパターン: 0000000000000008FFFFFFFFF?

アラームを禁止するビットパターン:

OFF時項目

アラーム発生ビットパターン: 00000000000000000000000000000000

アラームを禁止するビットパターン:

	アラームON	ON時アラームビットパターン	OFF時アラームビットパターン	ON時アラーム禁止ビットパターン	OFF時アラーム禁止ビット
0		0000000000000008FFFFFFFFF?	FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF		
1		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
2		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
3		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
4		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
5		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
6		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
7		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
8		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
9		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
10		C221981 C0F780AC2000000000	00000000000000000000000000000000		
11		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
12		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
13		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
14		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
15		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
16		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
17		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
18		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		
19		00000000000000000000000000000000	00000000000000000000000000000000		

レコード移動
<< < 1 / 61 > >>

更新
更新反映 キャンセル

ビットパターン更新 閉じる

図 13 にてアラームレベルの設定を行います。アラームレベルの設定は各局別になっており、局選択は図 13 左部の局一覧から行います。

Lv	: アラームレベルです。(設定する事はできません)
アラーム発生	: 接点 ON 時に所属する項目番号を 16 進数化した値です。
ビットパターン (ON 時)	
アラームを禁止する	: 接点 ON 時のアラーム出力を禁止する項目番号を 16 進数
ビットパターン (ON 時)	化した値です。
アラーム発生	: 接点 OFF 時に所属する項目番号を 16 進数化した値です。
ビットパターン (OFF 時)	
アラームを禁止する	: 接点 OFF 時のアラーム出力を禁止する項目番号を 16 進数
ビットパターン (OFF 時)	化した値です。

アラームビットマスクは「監視項目の設定」(2.2.3 項)にて行いますので、監視項目の設定終了時に「ON時アラームビットパターン」及び「OFF時アラームビットパターン」は自動生成されますので、基本的にユーザー様が設定する必要はありません。特殊な処理(※)を行う場合に図 13 にてビットパターンの再設定を行う必要があります。

※ 特殊な処理

- ・ある特定の接点がON時の場合、アラームレベルの事象を行わない
→「ON時アラーム禁止ビットパターン」の設定
- ・ある特定の接点がOFF時の場合、アラームレベルの事象を行わない
→「OFF時アラーム禁止ビットパターン」の設定

等

※ビットマスクの設定については「局情報の設定」(2.2.2 項)の「ビットマスクの設定」を参照願います。

2.2.12 メールグループの設定

図 14 メールグループの設定

図 14 にてメール送信のグループの設定を行います。メール送信はグループ単位にてメールを送信します。メールグループは最大10グループまで設定する事が出来ます。

○編集内容

グループ No : グループ番号です。(設定を行う事は出来ません)
グループ名称 : グループ名称です。

2.2.13 メール送信先の設定

メール送信先の設定

ユーザー情報

メールグループ: 1

ユーザID: 1

氏名: ユーザー1

アドレス: user1@aaa.co.jp

ユーザID	氏名	アドレス
1	ユーザー1	user1@aaa.co.jp
2	ユーザー2	user2@aaa.co.jp

レコードの移動: << < 1 / 2 > >>

データの編集: 追加 削除

更新: 更新 キャンセル

閉じる

図 15 メール送信先の設定

図 15 にてメール通報の送信先アドレスを設定します。

○編集内容

- メールグループ : メールグループです。
どのメールグループに属するか設定します。
- ユーザ ID : ユーザ ID です。(設定する事はできません)
- 氏名 : メール受信者の氏名です。
- アドレス : メールの送信先アドレスです。

2.2.14 メール送信元の設定

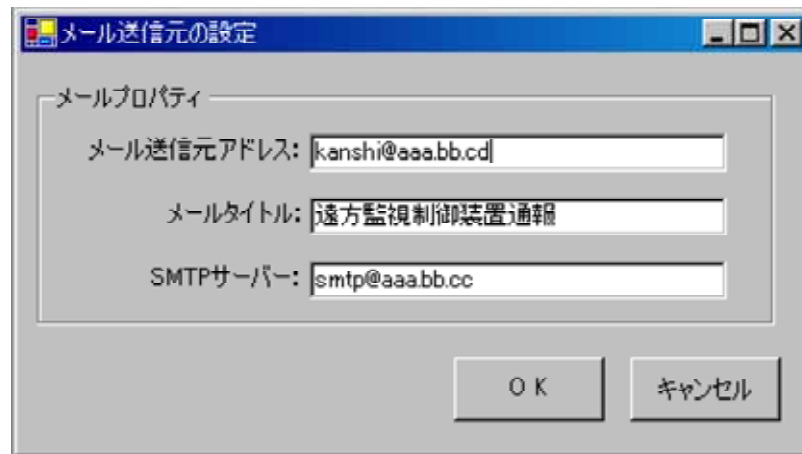


図 16 メール送信元の設定

図 16 にてメール送信を行う際のメール送信を行う送信者の名前（アドレス）及びメールタイトルを設定します。

○編集内容

- | | | |
|------------|---|---|
| メール送信元アドレス | : | メール送信者です。
メールアドレスを設定してください。 |
| メールタイトル | : | メールタイトルです。
携帯にメール送信を行う場合は 15 文字以内にて設定してください。 |
| SMTP サーバー | : | メールサーバー名です。
メール管理者に確認をした後に設定を行ってください。 |

2.2.15 メール送信条件の設定

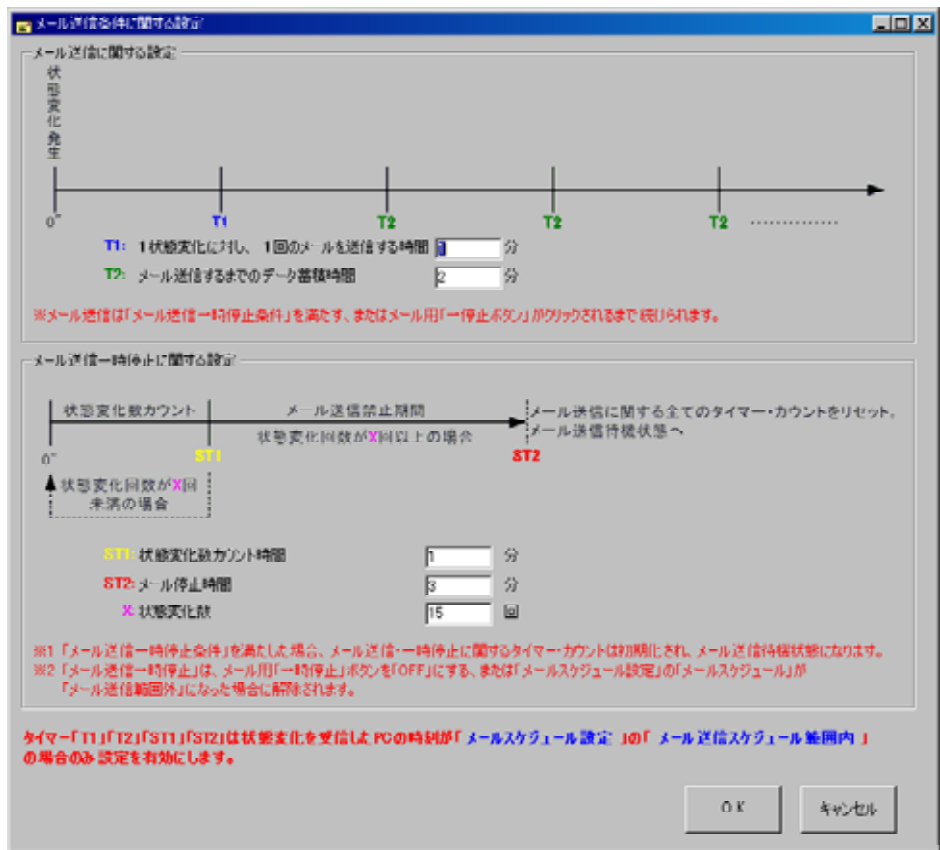


図 17 メール送信条件の設定

図 17 にてメール送信条件の設定を行います。

○編集内容

- T1 : 無条件にてメール送信を行う時間です。
1 状態変化毎に 1 通メール送信します。
- T2 : 状態変化を蓄積し、まとめて 1 通のメール送信を行います。
T2 の停止条件は「メール送信条件」を参照してください。
- ST1 : 状態変化数を確認する時間です。
状態変化数の上限値を超えた場合、メール送信を停止させます。
- ST2 : メール送信を停止する時間です。
停止時間が経過した場合、全てのカウントがリセットされ 1 状態変化毎にメール送信を行います。
- X : 状態変化数の上限値です。
状態変化数が上限値を超えた場合、メール送信を停止させます。

○メール送信条件

メール送信ソフトを起動すると、「メール送信を行う条件」の①～③の全てに該当する項目に状態変化が発生するまで待機します。(待機状態)

「メール送信を行う条件」の項目に状態変化が発生すると、状態変化数のカウントを行い、待機状態から **ST1** に状態変化数が **X** 値（状態変化数の上限値）を超えていないかの確認を始めます。

待機状態から **ST1** 間の状態変化数の確認にて状態変化数が **X** 値を超えた場合、**X** 値を超えた時点から **ST2** 時間まで無条件にてメール送信を停止します（その間に起こった状態変化のメールは送りません）。

ST2 時間が過ぎると全ての状態をリセットし、待機状態に戻ります。

待機状態から **ST1** 間の状態変化の確認にて状態変化数が **X** 値を超えなかった場合、メール送信を送ります。

メール送信は **ST2** 時間中でない場合、待機状態から **T1** 時間までは「メール 1 通に対して 1 項目送信」、**T1** 時間を過ぎると **T2** 期間まで状態変化データを蓄積し、**T2** 時間が経過した時点で「蓄積したデータを 1 通のメールにまとめて送信」します。

T2 は

- ・WEB 画面にて「メール一時停止」ボタンがクリックされた
- ・**T2** ～ **T2** 間に状態変化がない
- ・メール停止時間（**ST2**）が経過する

まで続けられ、上記のいずれかに該当した場合は全ての状態をリセットし、待機状態に戻ります。

メール送信が行われる項目については、メール送信が行われたかの確認をログにて行う事が出来ます。

○メール送信を行う条件

メール送信は下記の条件が全て一致する場合のみメール送信を行います。

- ①局別アラームの設定（2.2.19 項）にて状態変化が起こった局の「メール出力」設定を「出力する」に設定
- ②状態変化が起こった項目に割り付けられたアラームレベルに「メール送信を行う」設定を行っている
- ③状態変化を受け取ったセンター装置の日付が「メールスケジュール」（2.2.17 項）の「メール送信を行う」期間に該当する。
- ④メールグループ（2.2.12 項）にメール送信先（2.2.13 項）が設定されている場合
- ⑤メール送信条件（2.2.15 項）にて「メール停止(**ST2**)」期間に該当しない

2.2.16 アラームスケジュールの設定

図 18 アラームスケジュールの設定

図 18 にてアラーム出力の出力時間帯と出力内容を設定します。

○編集内容

- 時間帯 : スケジュールの番号です。(設定を行うことが出来ません)
早番から順番にアラーム出力を実行します。
- 設定を有効にする : 設定内容を有効にする場合にチェックをいれます。
- 時刻の設定 : アラーム出力を行う時間帯です。
- パトランプ (マスター室) : マスター室のパトランプを動作させる場合にチェックを入れます。
- アラーム音 (マスター室) : マスター室にアラーム音を出力させる場合にチェックを入れます。
- パトランプ (技術室) : 技術室のパトランプを動作させる場合にチェックを入れます。
- アラーム音 (技術室) : マスター室にアラーム音を出力させる場合にチェックを入れます。
- パトランプ (宿直室) : 宿直室のパトランプを出力させる場合にチェックを入れます。
- 休日設定 : 休日の設定を行います。

○休日の設定



図 19 休日の設定

各スケジュールの「休日設定」欄の「設定」ボタンをクリックすると、図 19 の様なカレンダー画面を表示します。

休日に該当する日付をクリックし、日付の背景色を緑色にします。

休日の設定は「休日設定を行う時点の月から1年分」(図 19 の場合は2005年6月～2006年5月まで)の設定を行う事が出来ます。

設定を有効にする場合は「OK」ボタン、破棄する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

○曜日選択

曜日は以下の9つから選択を行います。

優先順位	曜 日	内 容
1	休 日	「休日の設定」(図 19) にて休日に設定された日付
2	日曜日	カレンダーにて日曜日に位置する日付
3	月曜日	カレンダーにて月曜日に位置する日付
4	火曜日	カレンダーにて火曜日に位置する日付
5	水曜日	カレンダーにて水曜日に位置する日付
6	木曜日	カレンダーにて木曜日に位置する日付
7	金曜日	カレンダーにて金曜日に位置する日付
8	土曜日	カレンダーにて土曜日に位置する日付
9	平 日	「休日の設定」(図 19) にて休日に設定されていない日付

スケジュールには曜日の優先順位があり、ユーザー様が「休日の設定」(図 19) にて設定を行った「休日」に該当する日付の優先順位が高く、次にカレンダーの日曜日～土曜日、そして「休日の設定」(図 19) にて休日設定を行わなかった日付の順にアラームの出力を行います。

2.2.17 メールスケジュールの設定

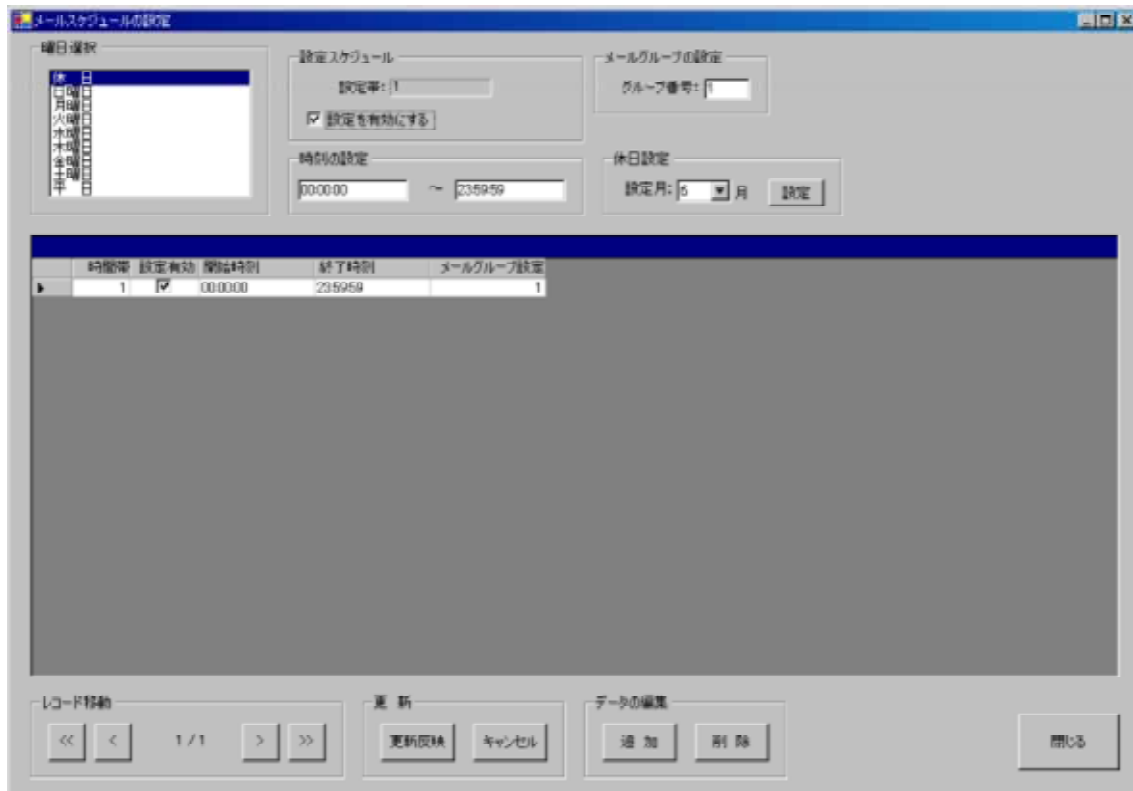


図 20 メールスケジュールの設定

図 20 にてメールの送信時間帯と送信先のグループを設定します。

○編集内容

- 時間帯 : スケジュールの番号です。(設定を行うことが出来ません)
早番から順番にメール送信を行います。
- 設定を有効にする : 設定内容を有効にする場合にチェックをいれます。
- 時刻の設定 : メール送信を行う時間帯です。
- メールグループ番号 : メール送信を行うグループ番号です。
設定したグループ番号に属するメールアドレスにメール送信を行います。
- 休日の設定 : 休日の設定を行います。

休日の設定ならびに曜日に関しては「アラームスケジュールの設定」(2.2.16 項)を参照します。

2.2.18 擬似項目状態変化スケジュールの設定

時間帯	設定有効	開始時刻	局番号	項目番号	ビット状態
1	☒	00:00:00	1	17	☒

図 21 擬似項目状態変化スケジュールの設定

図 21 にて擬似項目の状態変化を管理します。

○編集内容

- 時間帯 : スケジュールの番号です。(設定を行うことが出来ません)
早番から順番にメール送信を行います。
- 設定を有効にする : 設定内容を有効にする場合にチェックをいれます。
- 時刻の設定 : 擬似項目の状態変化の管理を開始する時間です。
- 局番号 : 管理を行う擬似項目の局番号です。
- 項目番号 : 管理を行う擬似項目番号です。
- ビット状態 : 擬似項目のビット状態です。
- 休日設定 : 休日の設定を行います。

休日の設定ならびに曜日に関しては「アラームスケジュールの設定」(2.2.16 項)を参照します。

○局番号・項目番号の設定

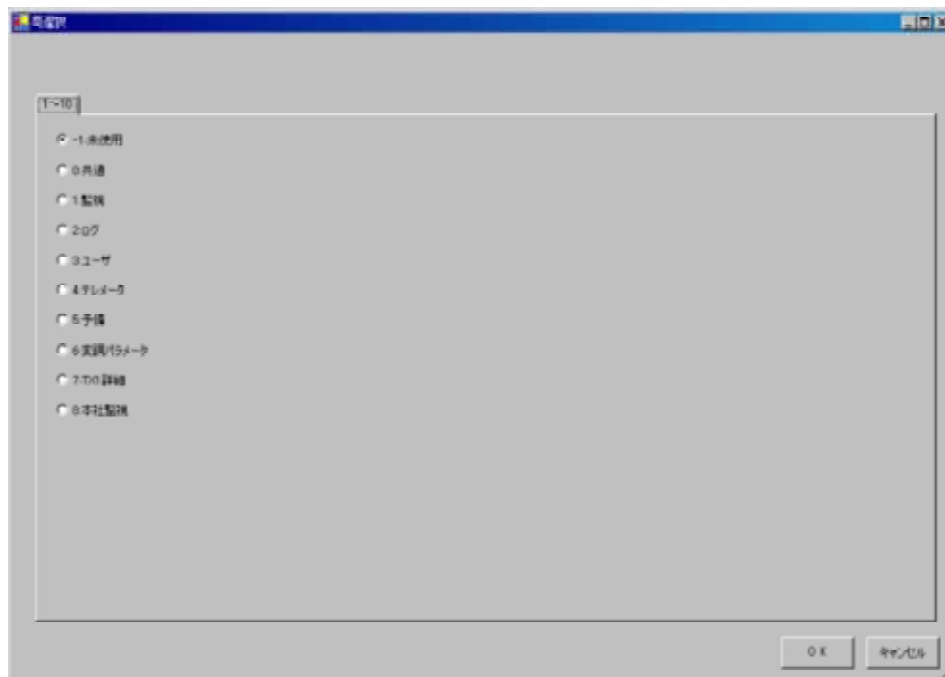


図 22 局番号の設定

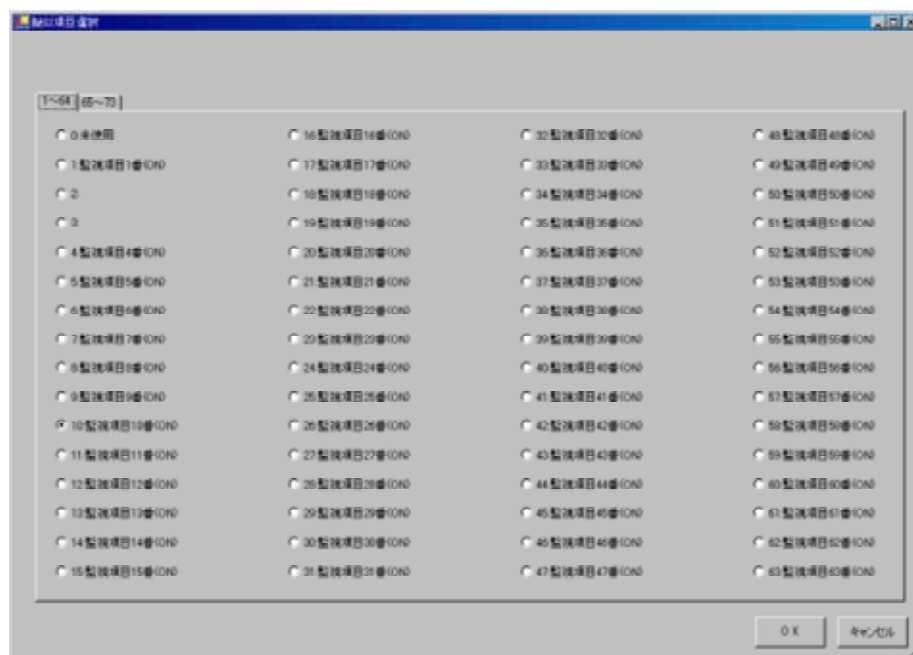


図 23 項目番号の設定

図 22 では局番号、図 23 では項目番号を一覧の中から選択します。

項目番号は図 22 にて選択された局の項目名称を表示します。

番号の選択を有効にする場合は「OK」ボタン、選択を破棄する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

2.2.19 局別アラーム出力の設定

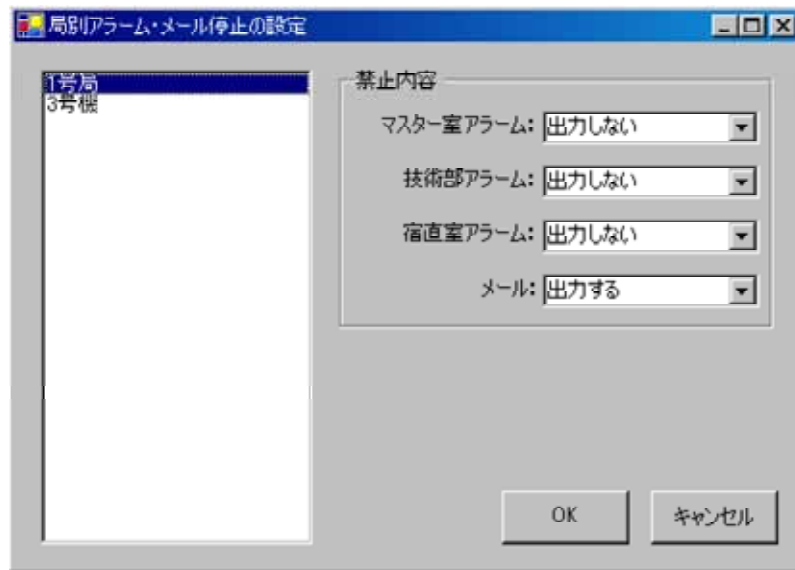


図 24 局別アラーム出力の設定

図 24 にて局別アラーム出力およびメール送信を行うかの設定を行います。

○編集内容

マスター室アラーム : マスター室のアラーム出力です。
技術室アラーム : 技術室のアラーム出力です。
宿直室アラーム : 宿直室のアラーム出力です。
メール : メール出力です。

出力する場合は「出力する」、出力しない場合は「出力しない」に設定してください。

2.2.20 合成項目の設定

合成項目の設定

項目番号: No. 1001

項目名: 123456

反転合成ビットパターン: []

ON時ビットパターン

合成ビットパターン: F00000

無効ビットパターン: []

OFF時ビットパターン

合成ビットパターン: []

無効ビットパターン: []

項目番号	項目名称	反転合成ビットパターン	ON時合成ビットパターン	OFF時合成ビットパターン	ON時合成無効ビットパターン
1001	123456		F00000		
1002	合成項目1002番		000000		
1003	合成項目1003番				
1004	合成項目1004番				
1005	合成項目1005番				
1006	合成項目1006番				
1007	合成項目1007番				
1008	合成項目1008番				
1009	合成項目1009番				
1010	合成項目1010番				

レコード移動: << < 1 / 10 > >>

更新: 更新反映 キャンセル

ファイル出力 閉じる

図 25 合成項目の設定

図 25 にて WEB 画面のコントロールの背景色を割り付ける項目を設定します。

○編集内容

- 項目番号 : 合成項目番号です。(設定を行う事はできません)
- 項目名称 : 合成項目名称です。
- 反転ビットパターン : 設定した項目が 1 つでも接点 ON 状態になっていない場合に色の表示を行う監視項目番号を 16 進数化した値です。
- 合成ビットパターン : 設定した項目が 1 つでも接点 ON 状態になった時に色の表示を行う監視項目番号を 16 進数化した値です。
- 無効ビットパターン : 設定した項目の全てが接点 ON 状態になった時に色の表示を無効化する監視項目番号を 16 進数化した値です。
- 合成ビットパターン : 設定した項目が 1 つでも接点 OFF 状態になった時に色の表示を行う監視項目番号を 16 進数化した値です。
- 無効ビットパターン : 設定した項目の全てが接点 OFF 状態になった時に色の表示を無効化する監視項目番号を 16 進数化した値です。
- 表示メッセージ : WEB 画面に表示を行うメッセージです。

WEB 画面のコントロールに割り付ける項目が 1 項目の場合は合成項目の設定を行う必要はありません。

2.2.21 Web 画面表示メッセージの設定

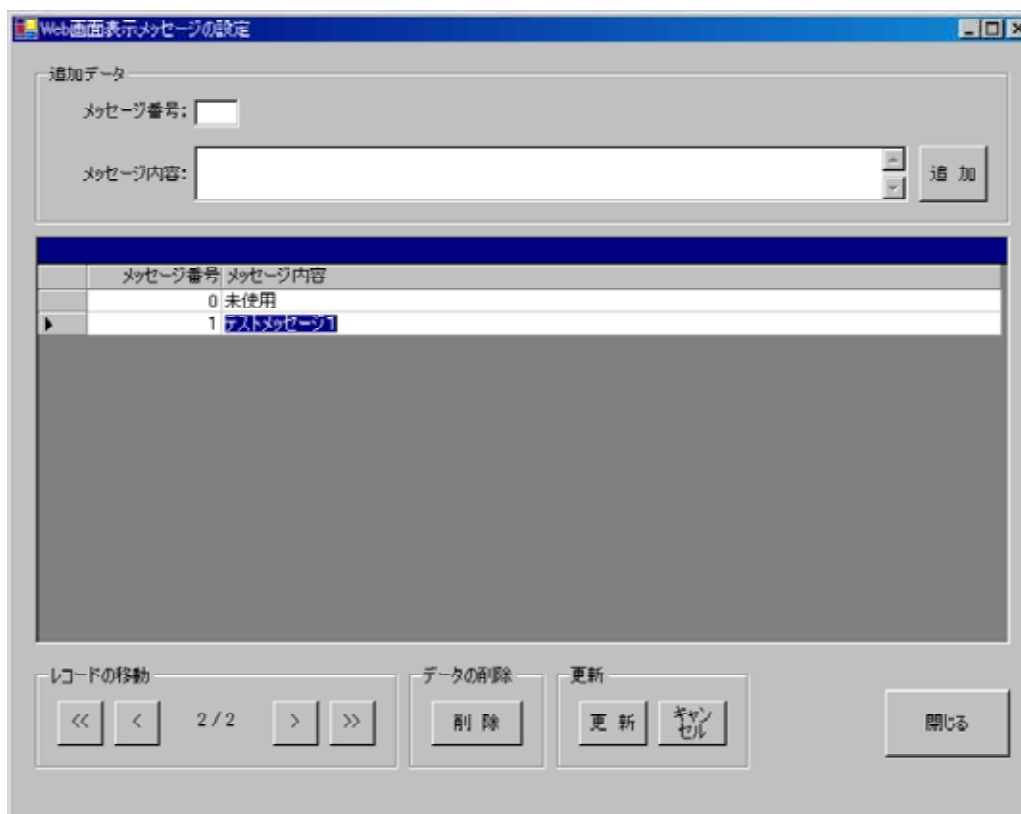


図 26 Web 画面表示メッセージの設定

図 26 にて WEB 画面にて表示を行うメッセージを設定します。

○編集内容

- メッセージ番号：メッセージ番号です。
追加時のみ設定を行う事が出来ます。
- メッセージ内容：表示を行う内容です。

2.2.22 ユーザーパスワードの設定

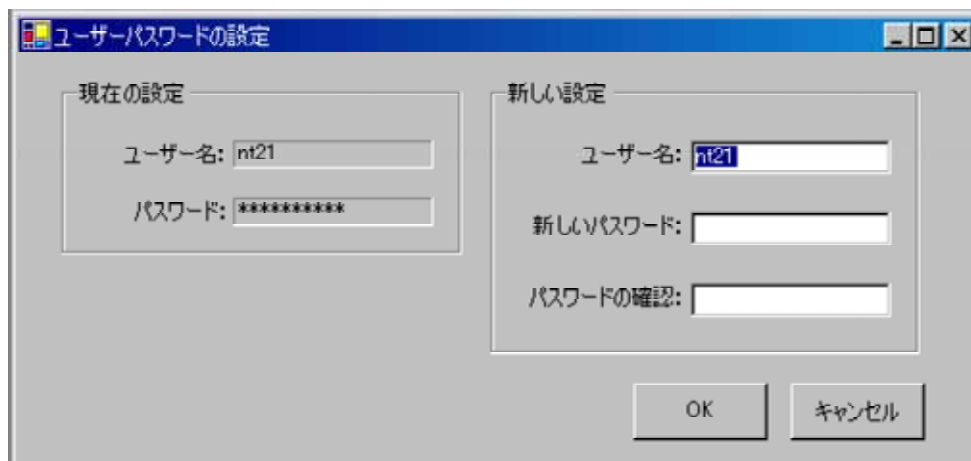


図 27 ユーザーパスワードの設定

図 27 にて WEB 画面にログオンを行うためのユーザーとパスワードを設定します。

○編集内容

ユーザー名 (現在の設定)	: 現在設定されているユーザー名です。 (設定を行う事はできません)
パスワード (パスワード)	: 現在設定されているパスワードです。 (設定を行う事はできません)
ユーザー名 (新しい設定)	: 新しいユーザー名です。
新しいパスワード (新しい設定)	: 新しいパスワードです。
パスワードの確認 (新しい設定)	: 設定確認用のパスワードです。

セキュリティ上、現在のパスワードは設定されている文字数に関係なくアスタリスク(*)を10個表示します。

新しい設定は「新しいパスワード」と「パスワードの確認」が一致した場合のみ設定を有効にする事が出来ます。